

グローバルイゼーションと国際企業（日仏の交差する視線）

グローバルイゼーションについて以下の3つの枠組で捉え、2月6日の日仏共同デバでは経済人の立場から主に1と2について議論することにしたい。02・12 久米

	現象	衝撃を受けた層	発生した事象	最近の状況
1.世界経済/政策のG	貿易・資本(特に海外投資)・人・情報の流れの加速化 米・英流の自由化・規制緩和が優位に。国は可能な限りレギュレーターに留まる	LDC-政策当局者・地場企業・労働者 先進国—規制・保護を受けている低生産性部門、公営部門 marginalizeされた地域・国(アフリカ・イスラム諸国)	強いアンチ・グローバル主義の運動(MAI、WTOシフト、IMF、WBワシントン・プラザ総会、ジェネアサット、IMF/世銀総会とりやめ) 仏 Co - habitation の中で35時間制導入し、国营企業の民営化は加速。EU誕生後の欧州政策でインシアブとれないことへの不満増大 日本は経済低迷で日本型資本主義モデルへの疑問強まる—構造改革 アジア経済危機の発生 ニュー・エコノミーやITブームへの期待とバブルの破裂 9/11の発生	人間の顔をしたグローバルイゼーション(Humaniser)の指向—9・11以降先進国・国際機関は貧困対策・債務削減/アフリカ支援前面に 京都議定書の枠組みやヨハネス・サミットの開催など地球環境問題への対応が進む WTOカール総会開催・新ラウンド交渉進行 IMFは若干政策変更・STIGLITZのグローバルイゼーション批判 欧州の右旋回(オランダ・仏—自由化政策遂行へ)。公的セクターでのデモ増加 中国のWTO加盟で投資ブーム

	現象	衝撃を受けた層	発生した事象	最近の状況
2. 企業行動/基準の G	世界的に資本市場(株主)重視の経営に移行 米国流のアナリス・会計・監査・レディング・コーポレートガバナンスが優勢に	銀行等のステークホルダー重視の日・独・仏等の企業 アジア等の新興ファミリー企業	日本企業・銀行も米国流レディングで大きく打撃をうける。連結、時価決算・四半期決算の早期導入。米国流の改正商法適用 欧州では株主増加、機関投資家の出資増等アメリカ化 仏 - Vivendi は米流に環境事業からマルチメディアへ	米・欧等世界的株価下落、インフレーションの破綻・ワールド・ワイドの不正会計取引等で米のシステム・企業倫理の問題顕在化 —米国では処罰・規制を強化 Vivendi Universal の解体。JM 社長退任。 GE・ABB等の超有料企業の株価低落
3. 文化の G	米国流文化の優位 (IT、ハンバーガー、ゴルフ、野球)	精神文化を重視するイスラム・欧州・日本等の国民	仏は文化例外主義主張 (WTO) 文明の衝突対諸文明の対話 9/11 の発生	米は対抗策で EU・ロシア・中国等との協力必要に イラク攻撃では国連重視か米単独主義かが問われる 世界は多極化の指向 (江沢民) 京都プロトコル・ICC 等米 国反対にもかかわらず進展